



市民環境常任委員会

1

議会報告会・意見聴取会 令和5年（2023年）5月20日（土）、21日（日）

所管事務調査

「社会情勢の変化に対応する観光商工振興策について」

・令和4年6月

所管事務調査を行う事を決定

・令和4年7月-11月

担当原局への聞き取り調査

富山県・高岡市への委員会視察

鎌倉市観光協会・商工会議所との意見交換



「新・富山県観光振興戦略プラン」の概要

1 はじめに

(1)プラン策定の趣旨
北陸新幹線開業をはじめとする本県の観光を取り巻く環境が大きく変化する中、県、市町村、県観光連盟、市町村観光協会、観光事業者、民間事業者、県民等が一体となって本県観光の目指すべき姿を実現するため、観光振興施策の総合的かつ戦略的な推進を図る

(2)プランの位置付け
元来とやま観光振興条例(第7条)に基づき、観光の振興を総合的かつ戦略的に推進するための基本計画

(3)計画期間
平成27年度～31年度の5年間

3 本県観光の目指すべき方向と目標

(1)基本目標
「選ばれ続ける観光地 富山ー『海のあるスイス』を目指してー」

(2)目指す将来像(Vision)
○「海のあるスイス」世界遺産・世界水準の山岳リゾート+世界で最も美しい湾
○「富山で休もう。」上質なライフスタイルのブランド

(3)施策(Mission)
○マーケティングに基づく観光地域・ブランドづくり
○質の重視と地域内経済循環の促進
○世界水準に相応しい旅行者の受入体制整備

4 数値目標

	H26	H31
観光による経済波及の拡大(前年年度の数値、推定前年の数値)		
観光消費額	1,292億円	2,067億円
コンベンション参加者数(人)	86,077人	91,000人
コンベンション開催件数(件)	255件	270件
旅行者のリピーター化		
旅行者の満足度	71%	80%以上
国内外から選ばれる観光地		
延べ宿泊者数	3,489千人	5,200千人以上
外国人宿泊者数	20万人(前)	56万人

2 本県観光の現状と課題

(1)これまでの取り組み
①富山らしい魅力創出
観光資源を軸に、商品開発、富山湾船等
②戦略的なPR
北陸D.C.「富山で休もう」CP、VR体験、映画誘致等
③訪てなし環境の整備
とやま観光未来創造塾、「休んでかれ」宣言等
④国際観光の推進
A7ホテルなどによる誘致促進、受入環境整備
⑤コンベンションの誘致促進

(2)観光を取り巻く環境
○北陸新幹線の開業
○「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟
○国際会議の誘致促進
○全県レベルでの訪日外国人の増加
○東京オリンピック・パラリンピックの開催等

(3)富山観光の現状
○入込状況は東日本大震災以降、回復基調
○外国人宿泊者数は好調に推移
○冬季の宿泊者数が少なく、営業稼働率も低い
○旅行消費額・滞在時間が、全国平均と比較して少ない・短い
○観光地のアクセスが良く、満足度が低い
○食に対する満足度は高い、再訪意向は高いが、実際のリピーター率は必ずしも高くない

(4)富山観光の課題
○観光は観光客だけでなく、関係者、関係者
○観光・消費・長野等との連携強化・誘引強化
○立山黒部・五箇山等から県内観光地への回遊性向上
○二次交通の整備充実
○交通結節点(ハブ)としての優位性を活かした広域観光の拠点づくり
○旅行向けワンストップサービスの提供
○観光マーケティングの推進・強化
○観光振興の整備・観光マーケティングによる戦略立案
○富山の魅力を語る対象を明確にした観光商品開発と情報発信
○経済活動の地域内循環促進(地域経済等)
○観光振興商品の販売体制の強化
○リピーターの獲得・呼び込み
○訪日外国人旅行者への的確な対応
○外国人旅行者(FIT)の受入環境整備(利便性・満足度の向上)
○外国人向け観光商品の充実
○持続性ある受入体制の強化

4 施策の方向と重点的に取り組むべき事項

1 戦略的な観光地 づくり
① 戦略的な観光地づくりの体制整備(日本版DMO)
② グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり
③ 地域の観光を支える人づくり
④ 旅行者の満足度を向上させる受入環境の整備・支援
⑤ 観光産業と他産業の連携による地域内経済循環の促進
⑥ 観光の担い手としての事業者・県民の意識醸成

2 広域観光の拠点 化
① 広域観光ハブ(交通結節点)としての優位性を活かした拠点整備
② 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上
③ 広域観光の拠点としての賑わい創出・魅力向上

3 富山らしい 魅力 創出
① 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」の高付加価値化
② 世界で最も美しい富山湾の魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ
③ 豊かな食の魅力を上げ
④ 伝統文化、工芸品等上質な富山を提供する観光商品の開発
⑤ 産業観光、ロケ地、スポーツ等多様なツーリズムの展開
⑥ 冬季の魅力創出による通年観光の促進

4 戦略的なプロ モーション
① 「海のあるスイス」のイメージ醸成
② ターゲットの特性に応じ、リピーターや定住をも意識した効果的な情報発信
③ 交通事業者、大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション
④ 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

5 国際観光の 推進
① 広域観光周遊ルートの形成促進
② 外国人個人旅行者(FIT)の受入環境の整備
③ 欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信
④ 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大

6 コンベンションの 誘致促進
① 国際会議の誘致強化
② 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション誘致
③ 主催者のニーズに配慮した支援制度の充実
④ 富山の魅力を活かしたニューハブやA777コンベンション等の提案

戦略的な観光地づくりの推進

所管事務調査

「社会情勢の変化に対応する観光商工振興策について」

令和4年12月定例会 商工振興策について【中間報告】

- ・ 創業支援
- ・ 商店街の活性化
- ・ ものづくりの伝承



鎌倉彫



市内商店街



所管事務調査

「社会情勢の変化に対応する観光商工振興策について」

令和5年2月定例会 観光振興策について【最終報告】

- ・マーケティングデータの収集・分析及びデータを活用した観光戦略の策定
- ・富裕層への誘客及び取組への支援
- ・観光人材の育成・獲得及び関係人口を増やす施策の実施
- ・鎌倉の伝統・文化の体験及び魅力の発信
- ・交通環境の利便性



【観光協会HPより】